

平成22年度

有害赤潮プランクトン等監視調査事業報告書－ I

—— 長崎県下における赤潮の発生状況 ——

平成23年3月

長崎県総合水産試験場

目次

1	はじめに	1
2	通報体制	1
3	研修会	2
4	発生件数	2
5	発生水域	2
6	赤潮構成プランクトン	2
7	赤潮に伴う漁業被害	2
8	平成22年の赤潮速報	9
9	平成22年の赤潮発生時の状況	165
10	平成22年の赤潮による漁業被害の状況	184

赤潮速報ページ一覧

ページ	番号	発生日	発生海域	赤潮構成種
9	NS-1	5/12	離島 五島 五島市岐宿町水ノ浦湾	<i>Heterosigma akashiwo</i>
10-12	NS-2	5/26	九州西部 有明海 諫早市小長井町～南島原市布津町地先	<i>Heterosigma akashiwo</i>
13	NS-3	6/14	九州西部 その他(中) 西彼沿岸 長崎市長崎港内	<i>Prorocentrum dentatum</i>
14	NS-4	6/23	九州西部 その他(北) 九十九島 佐世保市小佐々町矢岳地先	<i>Ceratium fusus</i>
15	NS-5	6/29	九州北部 伊万里湾 松浦市福島町地先	<i>Prorocentrum dentatum</i>
16	NS-6	7/2	九州西部 橘湾 雲仙市小浜町地先	<i>Myrionecta rubra</i>
17	NS-7	7/2	九州西部 有明海 雲仙市瑞穂町～島原市地先	<i>Prorocentrum</i> spp.
18-19	NS-8	7/2	九州西部 有明海 諫早湾 諫早市小長井町沖	<i>Akashiwo sanguinea</i>
20-103	NS-9	7/3	九州西部 有明海	<i>Chattonella antiqua</i> <i>Chattonella marina</i> <i>Skeletonema</i> spp.
104-105	NS-10	7/5	九州西部 その他(北) 九十九島 佐世保市船越町地先	<i>Karenia mikimotoi</i>
106-138	NS-11	7/6	九州西部 橘湾	<i>Chattonella antiqua</i> <i>Myrionecta rubra</i>
139	NS-12	7/7	九州西部 その他(北) 九十九島 佐世保市小佐々町神崎地先	<i>Myrionecta rubra</i>
140	NS-13	7/12	九州西部 その他(北) 北松沿岸 平戸市田平町釜田港周辺	<i>Noctiluca scintillans</i>
141-143	NS-14	7/15	九州西部 大村湾	<i>Chattonella globosa</i>
144	NS-15	8/2	九州北部 伊万里湾 松浦市星鹿町青島地先	<i>Noctiluca scintillans</i>
145-159	NS-16	7/26	九州西部 大村湾 佐世保湾	<i>Chattonella antiqua</i> <i>Cochlodinium polykrikoides</i> <i>Fibrocapsa japonica</i>
160	NS-17	9/21	九州西部 橘湾 雲仙市小浜町地先	<i>Myrionecta rubra</i>
161	NS-18	9/30	九州北部 伊万里湾 松浦市福島町地先	珪藻類 (<i>Skeletonema</i> sp.主体)
162	NS-19	10/14	九州西部 その他(北) 九十九島 佐世保市小佐々町矢岳地先	<i>Prorocentrum triestinum</i>
163-164	NS-20	11/11	九州西部 その他(北) 九十九島 佐世保市小佐々町矢岳・楠泊地先	<i>Myrionecta rubra</i>

長崎県下における赤潮発生状況

1. はじめに

九州沿岸域の水産関係機関相互間において、赤潮による漁業被害を未然に防止するための一助として、昭和 53 年度から赤潮情報交換事業(水産庁補助事業)として開始され、平成 19 年度からは有害赤潮プランクトン等監視調査事業の一環として継続実施している。

平成 22 年も前年に引き続き漁業協同組合等の協力を得て、赤潮の発生、分布に関する情報を収集し、関係機関および関係漁協等に連絡するとともに、これらの対策等について現地研修、指導を実施した。

本報告は、事業の経過と長崎県内における平成 22 年 1 月から 12 月までの赤潮発生事例をとりまとめたものである。

担当者

場長	池田修二	総括
環境養殖技術 開発センター所長	秋永 高志	情報収集、研修会、現地指導
漁場環境科長	平野 慶二	情報収集、企画、研修会、現地指導
主任研究員	北原 茂	情報収集、研修会、現地指導
主任研究員	水田 浩二	情報収集、研修会、現地指導
主任研究員	狩野 奈々	情報収集、研修会、現地指導、とりまとめ

2. 通報体制

(1) テレファックスの設置および番号

長崎県水産部資源管理課	FAX	095(895)2584	
長崎県総合水産試験場	FAX	095(850)6374	(漁場環境科)
県央水産業普及指導センター	FAX	095(850)6372	(水産試験場内)
県北水産業普及指導センター	FAX	0956(25)5984	(県北振興局天満庁舎内)
県南水産業普及指導センター	FAX	0957(64)6304	(島原振興局県南保健所内)
対馬水産業普及指導センター	FAX	0920(54)2613	
壱岐水産業普及指導センター	FAX	0920(47)2124	(壱岐振興局内)
五島水産業普及指導センター	FAX	0959(74)2172	(五島振興局内)
上五島水産業普及指導センター	FAX	0959(52)3749	(新上五島町役場内)

(2) 情報収集水域および協力漁協

表 1、図 1 のとおり、8 水域で 20 漁協の協力を得た。

(3) 情報の連絡方法等

- ① 図2の情報連絡図による。
- ② 伊万里湾、大村湾については、赤潮調査後に海況概報を発行し、海況及び赤潮について各湾沿岸の漁協、市町に情報を提供した。
- ③ 赤潮発生に関する情報としては、赤潮発生状況速報を各赤潮について作成し、資源管理課、県内各水産業普及指導センターへ発信し、関係漁協・漁業者等へ注意喚起を行った。
また、県内関係機関以外に、水産庁漁場資源課、水産庁九州漁業調整事務所、独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所、同瀬戸内海区水産研究所、近隣県研究機関等にも発信した。

3. 研修会

実績なし

4. 発生件数

平成22年の発生件数は表2のとおり20件で、継続日数別では「5日以内」が11件、「6～10日」が3件、「11～30日」が4件、「31日以上」は2件であった。最長期間は橘湾水域で発生した *Chattonella antiqua* と *Myrionecta rubra* の混合赤潮の46日であった。

5. 発生水域

平成22年の赤潮発生水域は図3、表4のとおりで、九十九島が5件で最も多く、次いで有明海が4件、伊万里湾周辺、橘湾が3件、大村湾が2件、北松沿岸、西彼沿岸、五島が1件であった。平戸周辺、薄香・古江湾、壱岐、対馬での発生はなかった。

6. 赤潮構成プランクトン

出現種は表5のとおり15種であり、*Myrionecta rubra* が5件で最も多く、次いで *Chattonella antiqua* が3件、*Heterosigma akashiwo*、*Prorocentrum dentatum*、*Noctiluca scintillans*、珪藻類(*Skeletonema* spp. 主体) が2件、*Chattonella marina*、*Karenia mikimotoi*、*Cochlodinium polykrikoides*、*Chattonella globosa*、*Fibrocapsa japonica*、*Prorocentrum triestinum*、*Prorocentrum* spp.、*Ceratium fusus*、*Akashiwo sanguinea* が1件であった。

7. 赤潮に伴う漁業被害

発生件数20件のうち、漁業被害を伴ったものは4件であった。

- ①7月3日～8月16日に有明海～橘湾東部海域で発生した *Chattonella antiqua* と *Chattonella marina* の混合赤潮により、7月9日～7月30日に南島原市口之津町～雲仙市千々石町地先において養殖ハマチ(1～3年

魚) 67,998 尾、ヒラマサ (3 年魚) 200 尾、シマアジ(2 年魚)100 尾、マダイ (2~3 年魚) 9,100 尾がへい死した。被害金額は 86,426 千円であった。

②7月6日~8月20日に橘湾西部海域において発生した *Chattonella antiqua* の赤潮により、7月16日~7月29日に養殖ハマチ (3 年魚) 10 尾、シマアジ(1 年魚)539 尾、トラフグ (1 年魚) 80 尾がへい死した。被害金額は 529 千円であった。

③7月26日~8月24日に佐世保湾で発生した *Chattonella antiqua* 赤潮により、7月30日~8月17日に佐世保市針尾北町地先において、養殖ハマチ (2~3 年魚) 10,000 尾、ヒラマサ(1~3 年魚) 15,200 尾がへい死した。被害金額は 72,175 千円であった。

表 1 情報収集水域および協力漁協

情報収集水域名	協力漁協名	備 考 漁協－TEL
伊万里湾	新松浦	0955-48-3131
薄香・古江湾	平戸市	0950-22-3133
九十九島	佐世保市相浦	0956-47-2227
	九十九島	0956-69-3161
大村湾	川棚	0956-82-2051
	多良見町	0957-43-0228
	大村湾	095-882-2415
橘湾	橘湾東部	0957-74-3117
	野母崎三和	095-893-1131
	長崎市たちばな	095-830-2236
有明海	小長井町	0957-34-2244
	有明	0957-68-0503
対馬周辺	美津島町西海	0920-54-2207
	美津島町	0920-54-5020
	豊玉町	0920-58-1311
五島周辺	五島	0959-74-5510
	奈留町	0959-64-3115
	若松	0959-46-3125
	若松町中央	0959-46-2323
	上五島町	0959-52-2008
計8水域	20 漁協	

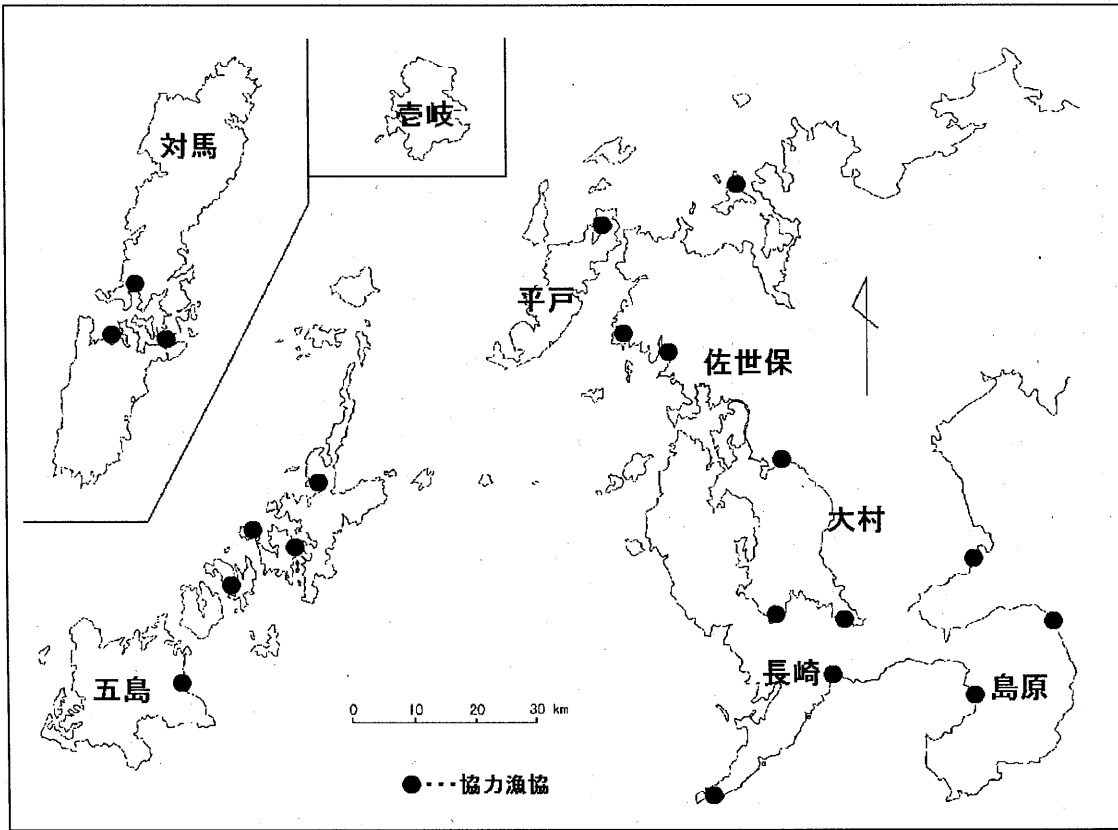


図1 情報収集水域および協力漁協

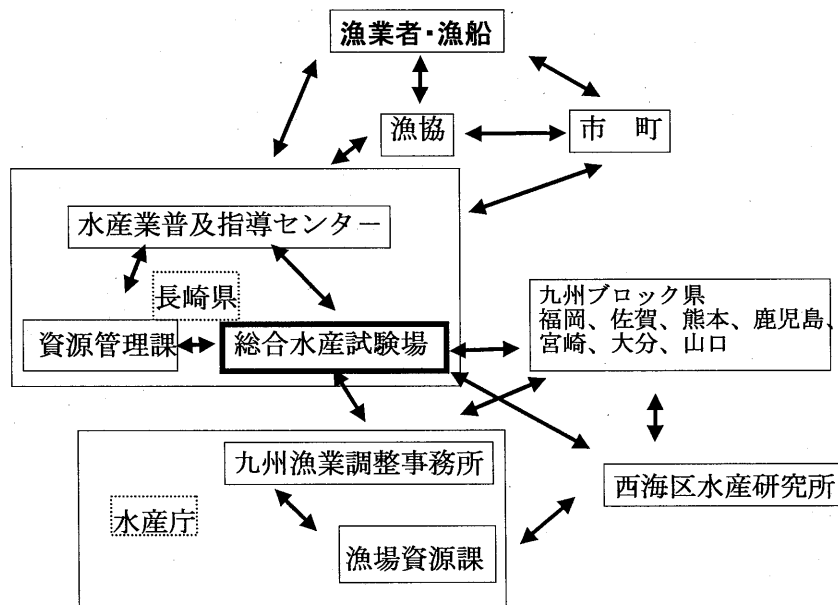


図2 情報連絡図

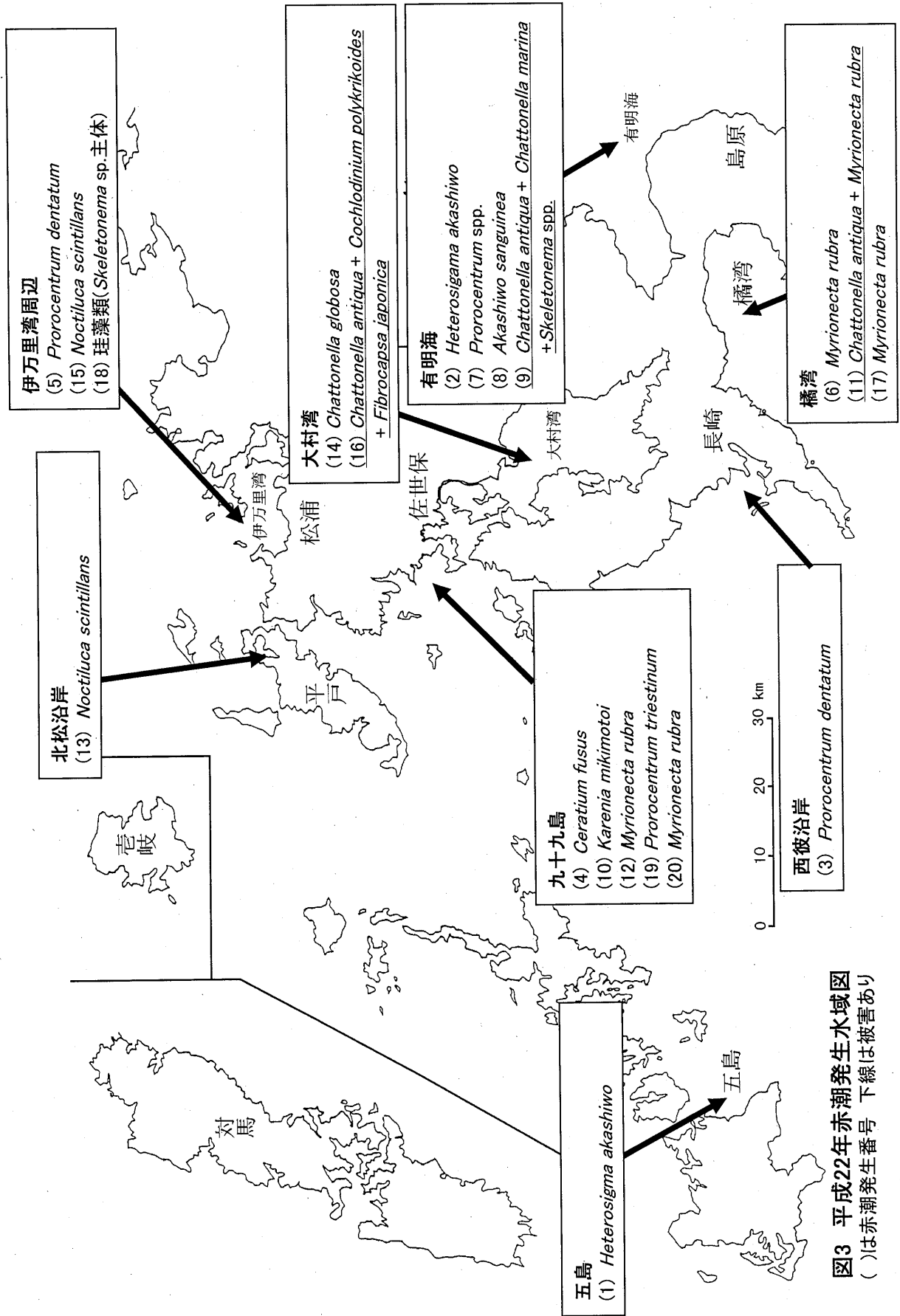


図3 平成22年赤潮発生水域図
 ()は赤潮発生番号 下線は被害あり

表2 発生継続日数別赤潮発生件数

発生期間	5日以内	6～10日	11～30日	31日以上	計
赤潮発生件数	11	3	4	2	20
うち漁業被害を伴った件数			1	2	3

(注)1件の赤潮で2回以上漁業被害が発生した場合も、漁業被害件数は1件とカウントする。

表3 月別赤潮発生件数及び被害件数

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	計
赤潮発生件数	0	0	0	0	2	3	10	5	2	2	1	0	25
うち先月より継続した件数	0	0	0	0	0	0	1	3	0	1	0	0	5
漁業被害件数	0	0	0	0	0	0	3	1	0	0	0	0	4
うち先月より継続した件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1

(注)1. 月をまたがって発生した赤潮は、それぞれの月にカウントする。

2. 月をまたがって発生した赤潮で別々の月に漁業被害が発生した場合は、それぞれの月でカウントする。

表4 水域別発生件数

海 域	水 域	件数	原因種	
九州北部	伊万里湾周辺	3	<i>Prorocentrum dentatum</i>	
			<i>Noctiluca scintillans</i>	
			珪藻類(<i>Skeletonema</i> sp.主体)	
九州西部	大村湾	2	<i>Chattonella globosa</i>	
			<i>Chattonella antiqua</i> , <i>Cochlodinium polykrikoides</i> , <i>Fibrocapsa japonica</i>	
	橘湾	3	<i>Myrionecta rubra</i>	
			<i>Chattonella antiqua</i> , <i>Myrionecta rubra</i>	
			<i>Myrionecta rubra</i>	
	北松沿岸	1	<i>Noctiluca scintillans</i>	
	西彼沿岸	1	<i>Prorocentrum dentatum</i>	
	九十九島		5	<i>Ceratium fusus</i>
				<i>Karenia mikimotoi</i>
				<i>Myrionecta rubra</i>
				<i>Prorocentrum triestinum</i>
<i>Myrionecta rubra</i>				
有明海		4	<i>Heterosigma akashiwo</i>	
			<i>Prorocentrum</i> spp.	
			<i>Akashiwo sanguinea</i>	
			<i>Chattonella antiqua</i> , <i>Chattonella marina</i> , <i>Skeletonema</i> spp.	
離島	五島	1	<i>Heterosigma akashiwo</i>	
計		20		

表5 赤潮構成種別発生件数

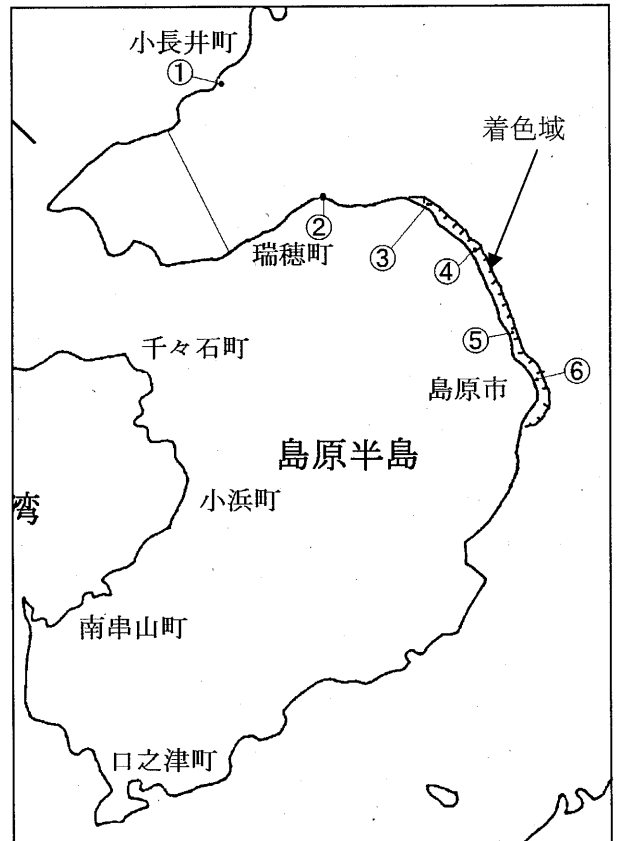
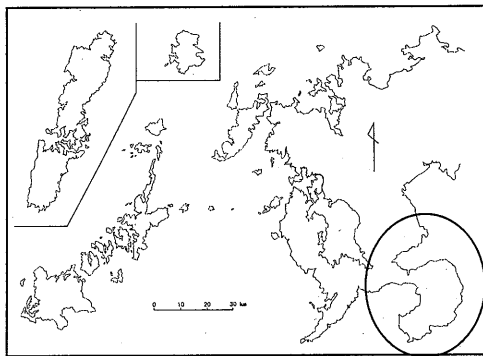
順位	赤潮構成種名	発生件数
1	<i>Myrionecta rubra</i>	5
2	<i>Chattonella antiqua</i>	3
3	<i>Heterosigma akashiwo</i>	2
3	<i>Prorocentrum dentatum</i>	2
3	<i>Noctiluca scintillans</i>	2
3	珪藻類(<i>Skeletonema</i> spp.主体)	2
7	<i>Chattonella marina</i>	1
7	<i>Karenia mikimotoi</i>	1
7	<i>Cochlodinium polykrikoides</i>	1
7	<i>Chattonella globosa</i>	1
7	<i>Fibrocapsa japonica</i>	1
7	<i>Prorocentrum triestinum</i>	1
7	<i>Prorocentrum</i> spp.	1
7	<i>Ceratium fusus</i>	1
7	<i>Akashiwo sanguinea</i>	1
計		25

2種混合赤潮1件、3種混合赤潮2件

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年5月26日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 雲仙市瑞穂町～島原外港	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 // 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター // 有明海研究所 // 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター水産試験場 // 浅海研究所 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	海岸線から500m沖まで 帯状に分布		
4.水色 (1～108番)	クライミダイ(24)～クライ(33)		
5.優占種	<i>Heterosigma akashiwo</i> 最高細胞数 29,000cells/ml		

8.参考図 5月26日現在 (15～17時)



調査点	<i>Heterosigma akashiwo</i> (cells/ml)
① 小長井中央港	0
② 西郷港	8,900
③ 多比良港	26,700
④ 湯江漁港	29,000
⑤ 三会漁港	24,600
⑥ 島原港(霊南)	6

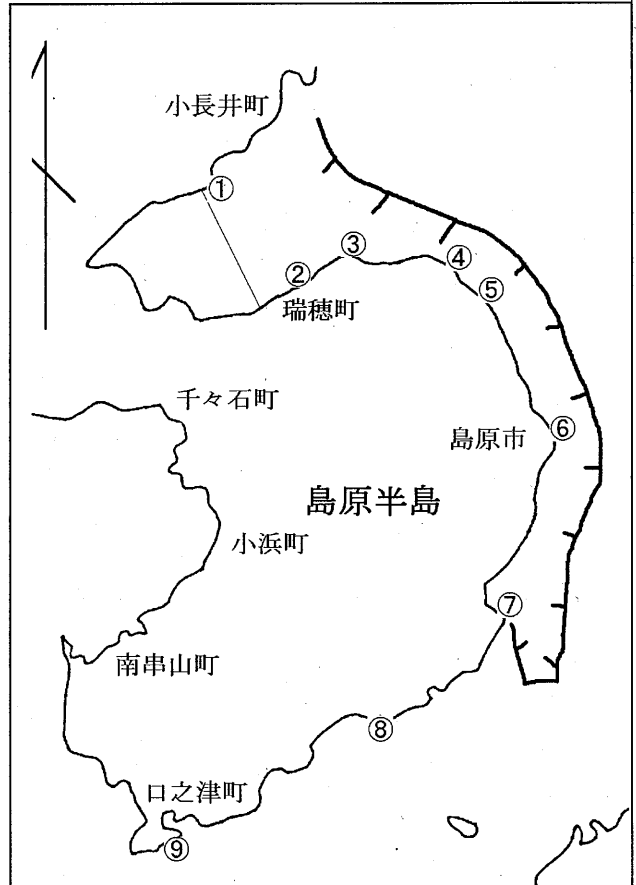
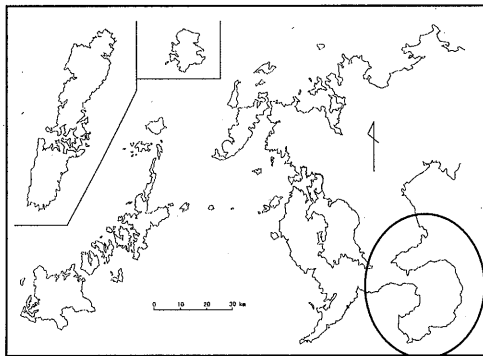
※採水はすべて表層

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年5月26日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 諫早市小長井町 ～南島原市布津町地先	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 〃 〃 〃 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター 〃 〃 〃 有明海研究所 〃 〃 〃 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター水産試験場 〃 〃 〃 浅海研究所 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	発生海域拡大 沿岸域で広範囲に着色		
4.水色 (1～108番)	コイカ(5)、クワイカミダイ(15)、 クワイミダイ(24)、クワイ(33)		
5.優占種	<i>Heterosigma akashiwo</i> 最高細胞数 89,000cells/ml		

8.参考図 5月27日現在 (15～17時)



調査点	<i>Heterosigma akashiwo</i> (cells/ml)
① 高来町金崎地先	7,600
② 大正港	6,900
③ 西郷港	89,000
④ 多比良港	47,200
⑤ 湯江漁港	31,800
⑥ 島原港(霊南)	1,270
⑦ 布津漁港	33
⑧ 須川港	23
⑨ 口之津港	0

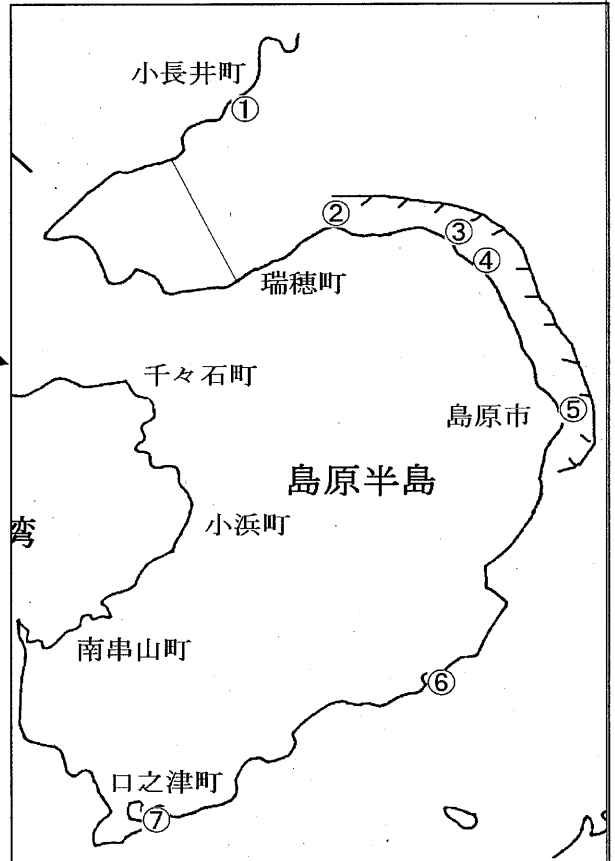
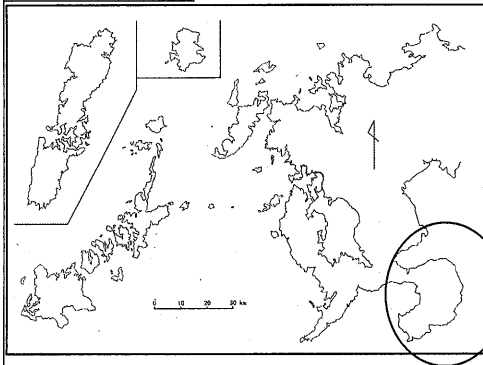
※ 採水はすべて表層

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年5月26日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 雲仙市瑞穂町～島原市地先	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 // 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター // 有明海研究所 // 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター水産試験場 // 浅海研究所 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	沿岸域で広範囲に着色		
4.水色 (1～108番)	ハイキミダ'イ'イ(27)、クライミ'リ(42)、 ハイキミ'リ(45)、クライミ'リ(51)		
5.優占種	<i>Heterosigma akashiwo</i> 最高細胞数 10,500cells/ml		

8.参考図 5月28日現在 (14～16時)



調査点	<i>Heterosigma akashiwo</i> (cells/ml)
① 小長井中央港	730
② 西郷港	1,550
③ 多比良港	10,500
④ 湯江漁港	4,100
⑤ 島原港(霊南)	6,700
⑥ 須川港	530
⑦ 口之津港	0

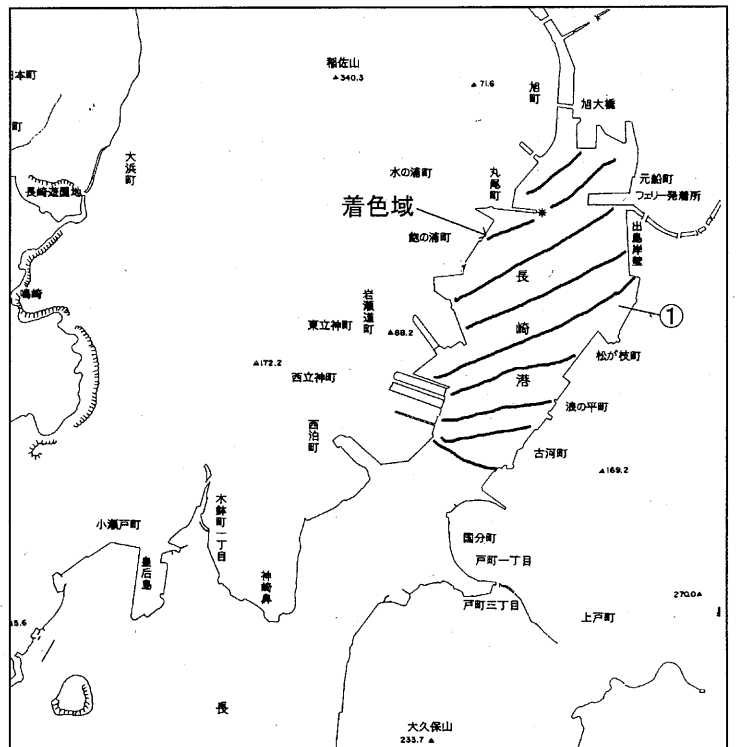
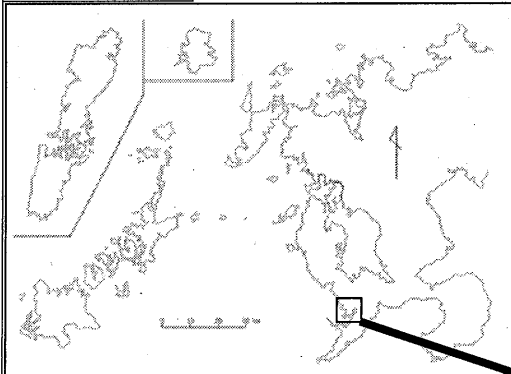
※ 採水はすべて表層

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年6月14日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 西彼沿岸 長崎市 長崎港内	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 // 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター // 有明海研究所 // 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター // 水産研究部 // 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	湾奥部で着色		
4.水色 (1~108番)	ハイノキドリ(45)		
5.優占種	<i>Prorocentrum dentatum</i> 15,000 cells/ml		

8.参考図 6月14日現在(14時15分頃)



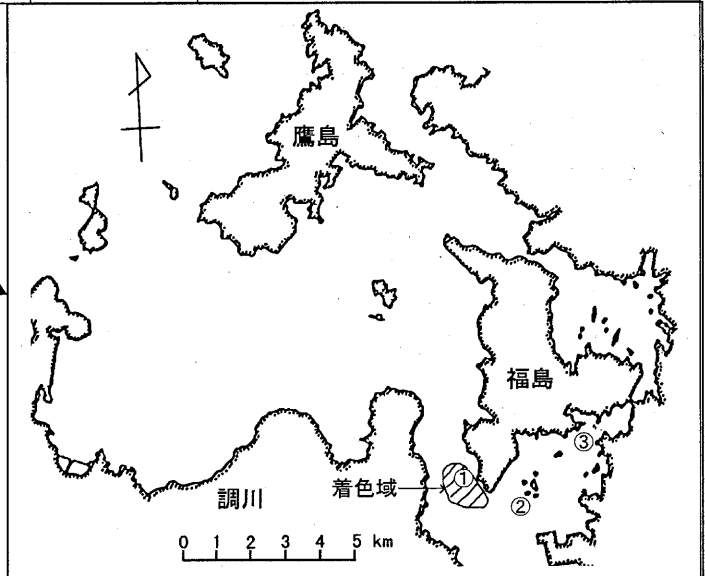
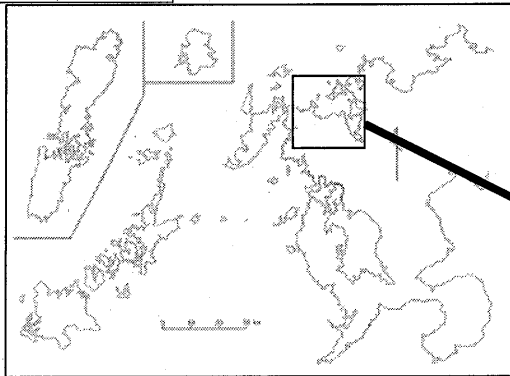
調査点	水深(m)	水温(℃)	塩分	DO(mg/L)	DO(%)
①	0.5	23.06	26.57	7.59	102.2

備考 調査者：長崎県県央水産業普及指導センター

赤潮発生状況速報

1. 発見日時	平成22年6月29日	6. 漁業被害	なし
2. 発生海域名	九州北部 伊万里湾 松浦市福島町地先	7. その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3. 発生状況 (規模、形状等)	不明		
4. 水色 (1~108番)	不明		
5. 優占種	<i>Prorocentrum dentatum</i> 3,300 cells/ml		

8. 参考図 6月29日現在



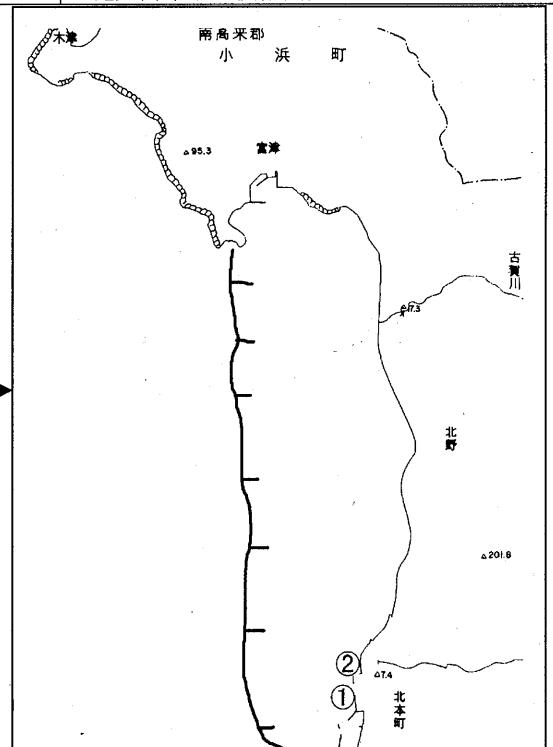
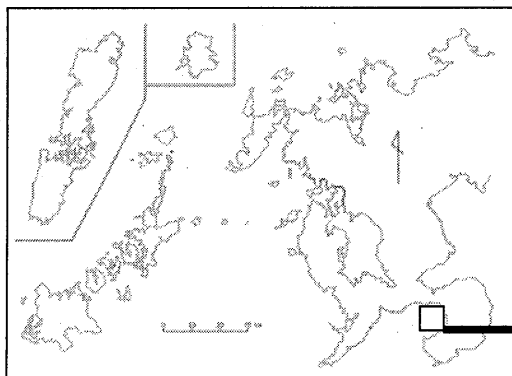
採水点	採水層(m)	水温(℃)	細胞数(cells/ml)
①	1	23.5	3,300
	5	22.8	0
	10	22.0	0
②	1	23.0	2,500
	5	22.5	0
	10	22.4	0
③	1	23.2	830
	5	22.6	5

備考 調査者：長崎県北水産業普及指導センター

赤 潮 発 生 状 況 速 報

1.発見日時	平成22年7月2日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 橘湾 雲仙市小浜町地先	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	沿岸域中心に着色		
4.水色 (1~108番)	クライアカミノダイ(15) クライキ(33)		
5.優占種	<i>Myrionecta rubra</i> 3,650 inds/ml		

8.参考図 7月2日現在



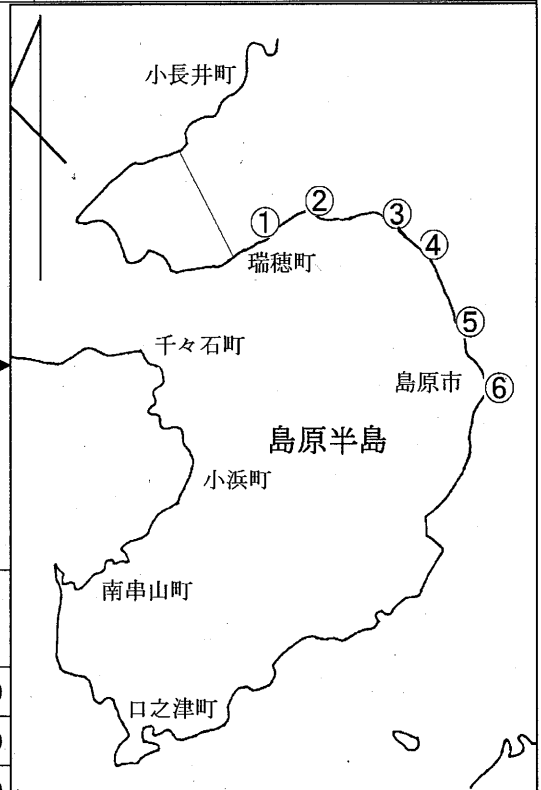
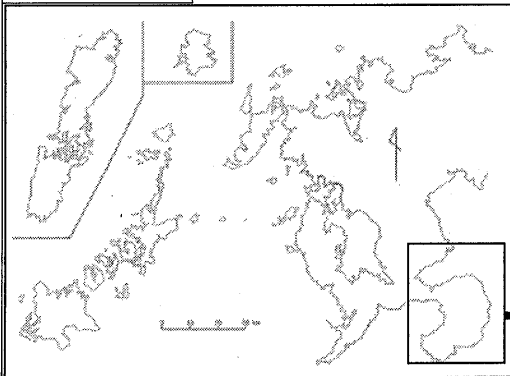
採水点	採水層	Myrionecta rubra (inds/ml)	Chattonella antiqua (cells/ml)
①小浜港(雲仙市小浜支所前)	表層	3,650	3
②小浜港(漁協前)	表層	2,550	13
	2m	1,150	3

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月2日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 雲仙市瑞穂町～島原市地先	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	港内や沿岸域を中心に着色 着色域の詳細は不明		
4.水色 (1～108番)	クライキ(33)、クライミドリ(42) クライミドリ(51)		
5.優占種	<i>Prorocentrum</i> spp. 23,000cells/ml		

8.参考図 7月2日現在



採水点	採水層	<i>Prorocentrum</i> spp. (cells/ml)	<i>Chattonella</i> spp. (cells/ml)
①大正港	1m	1,025	0
②西郷港	1m	17,000	0
③多比良港	1m	23,000	0
④湯江漁港	1m	13	0
	表層	2,540	29
⑤島原新港	1m	20,300	2
	表層	2,850	79
⑥島原港(霊南)	表層	2,850	79

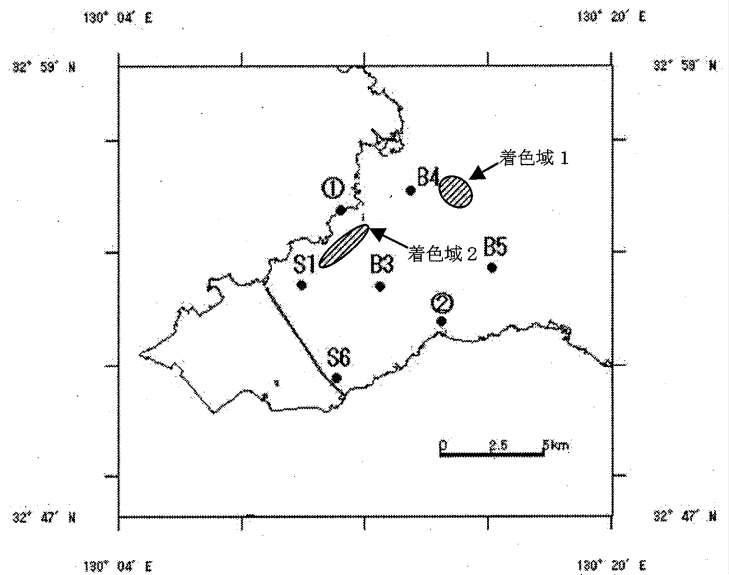
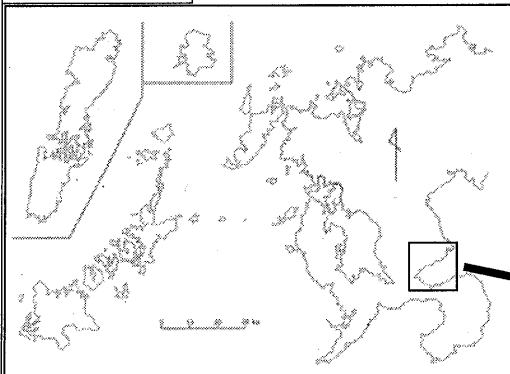
※着色域の詳細は不明

備考 調査者：長崎県県南水産業普及指導センター

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月2日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 諫早湾 諫早市小長井町沖	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	パッチ状に分布		
4.水色 (1~108番)	クライアミノダライ(15)		
5.優占種	<i>Akashiwo sanguinea</i> 142cells/ml		

8.参考図 7月2日現在



調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県総合水産試験場

観測年月日 平成22年7月2日

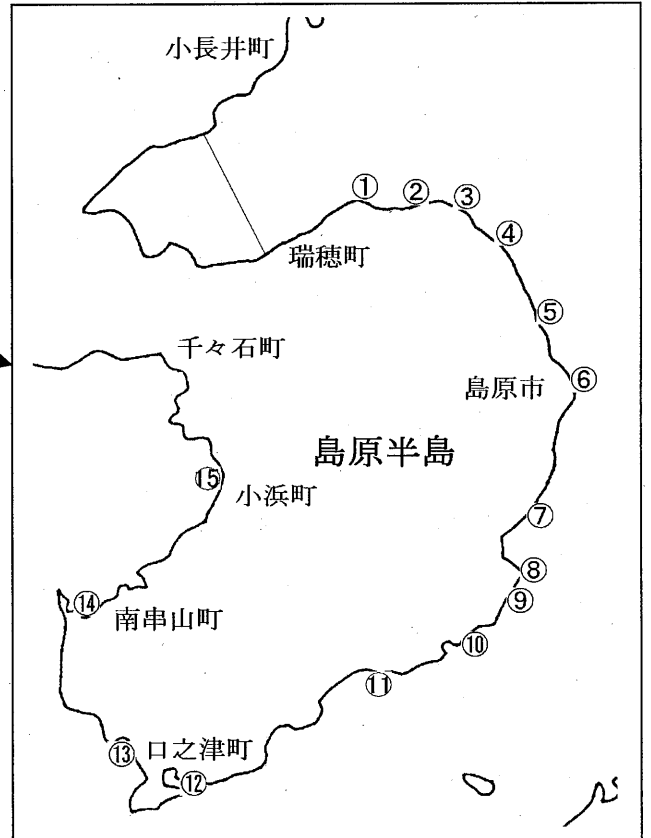
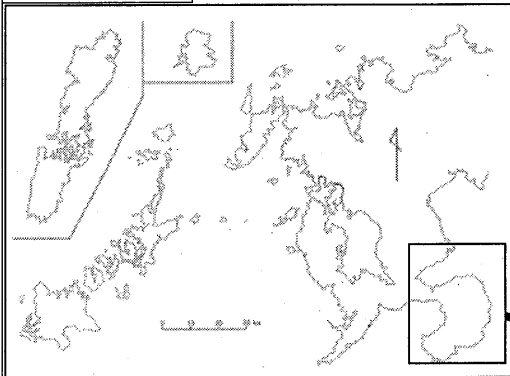
*プランクトン細胞数はcells/mL

定点	観測水深 (m)	Chattonella		Cochlodinium polykrikoides	Akashiwo sanguinea	Ceratium furca	Ceratium fusus	珪藻類	水温 (°C)	塩分 (psu)	透明度 (m)	水色
		antiqua	marina									
B3	0.5	0	0	0	1	0	0	3,300	24.69	20.29	2.5	54
	5	0	0	0	0	0	0	70	22.95	28.91		
	B-1(8.6)	0	0	0	0	0	0	230	22.75	29.43		
B4	0.5	0	0	0	0	6	0	1,720	24.40	21.52	2.8	45
	5	0	0	0	0	0	0	500	23.78	25.31		
	B-1(8.0)	0	0	0	1	0	0	520	22.81	29.22		
B5	0.5	0	0	0	0	0	1	1,620	24.55	21.51	2.8	45
	5	0	1	0	0	0	0	135	22.56	29.77		
	B-1(14.6)	0	0	0	0	0	0	130	21.88	31.11		
S1	0.5	0	0	0	0	0	11	190	23.94	24.36	2.5	54
	B-1(4.1)	0	0	0	0	0	1	265	23.21	27.76		
	0.5	1	0	0	7	7	1	1,420	25.04	20.76		
S6	B-1(3.6)	0	0	6	0	0	0	690	23.46	26.62	1.8	45
	0.5	2	7	0	26	18	5	755	24.17	15.17		
	B-1(4.3)	1	4	0	3	0	1	100	23.33	27.27		
①小長井港内	0.5	0	0	0	0	0	0	1,080	24.37	22.15	1.2	45
2	1	0	0	0	1	0	595	23.46	26.79			
B-1(4.8)	0	0	0	0	0	0	250	22.86	29.12			
②西郷港前	0	3	1	0	98	20	4	3,000	24.53	20.34	—	15
着色域1	0	6	4	8	142	44	6	690	24.33	19.76		
着色域2	0	6	4	8	142	44	6	690	24.33	19.76	—	15

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 南島原市深江町、有家町地先	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	港内を中心に着色 (深江漁港、堂崎港)		
4.水色 (1~108番)	クライキミダイトイ(24)、クライキ(33)、 クライトリ(51)、クワイオトリ(60)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 4,440 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 886 cells/ml		

8.参考図 7月3日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

調査結果(平成22年7月3日)

(cells/ml)

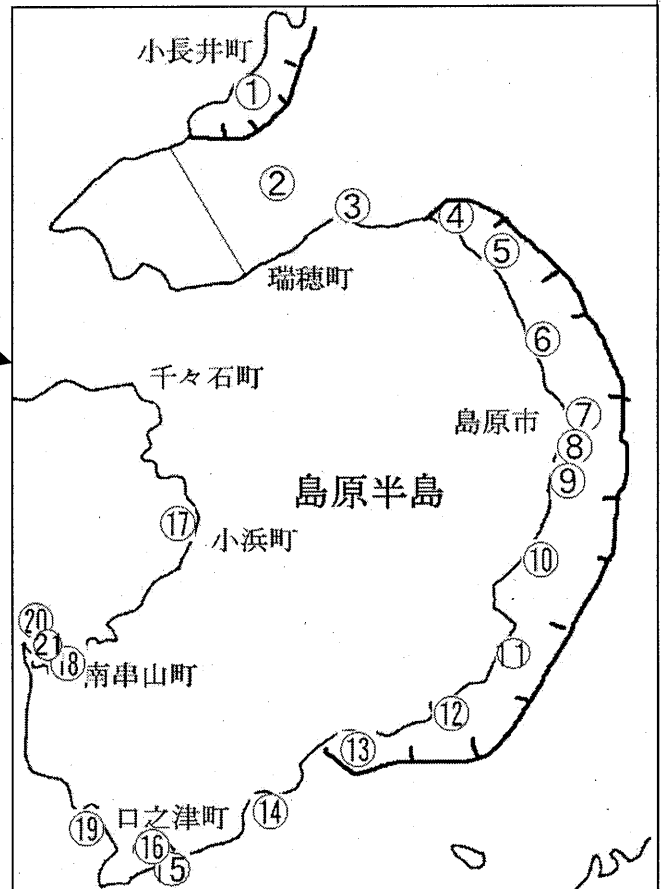
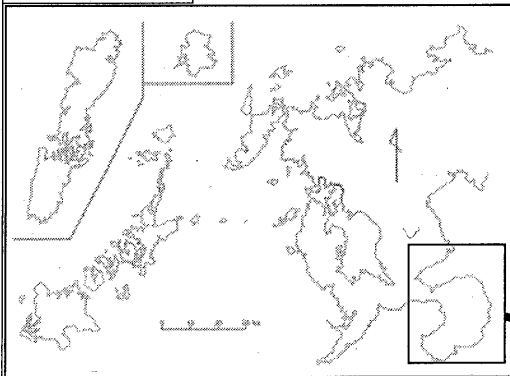
調査点		<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>
①	西郷港	0	0
②	神代港	0	0
③	多比良港	0	0
④	湯江漁港	2	4
⑤	島原新港	4	3
⑥	島原港(霊南)	17	2
⑦	深江漁港	4,440	886
⑧	布津漁港	538	54
⑨	貝津漁港	1	1
⑩	堂崎港	2,026	447
⑪	須川港	98	6
⑫	口之津港(大屋)	23	8
⑬	加津佐漁港	1	2
⑭	京泊漁港	0	0
⑮	小浜港	1	0

※ 表層を採水

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 諫早市小長井町沿岸 島原半島東岸	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	沿岸域を中心に着色		
4.水色 (1~108番)	クライアカ(6)、クワイミナダイ(24)、 ハイミノキ(36)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 3,400 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 9,950 cells/ml		

8.参考図 7月5日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

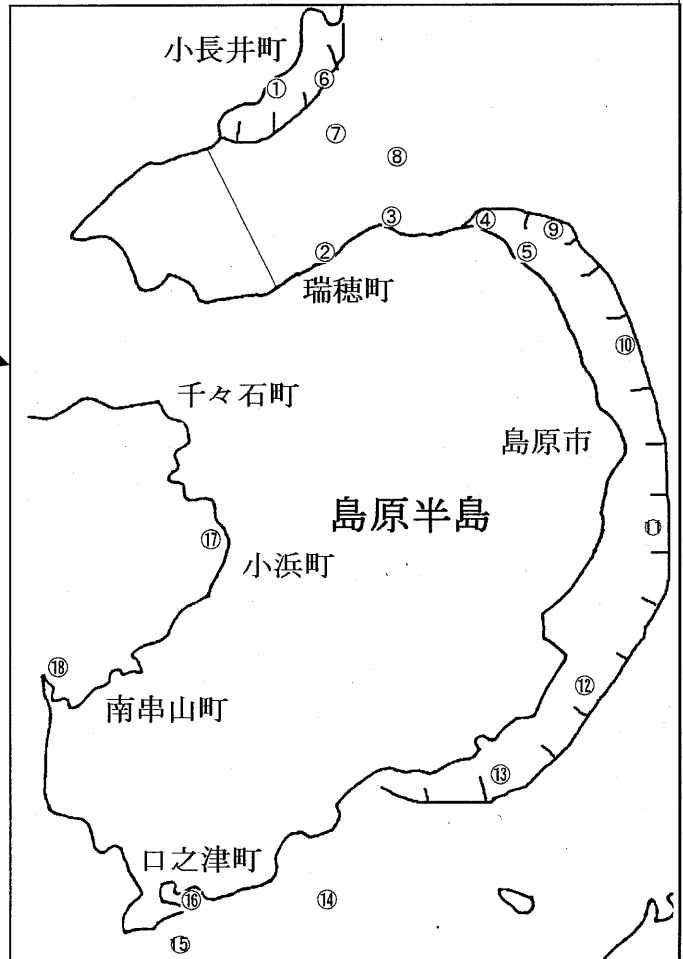
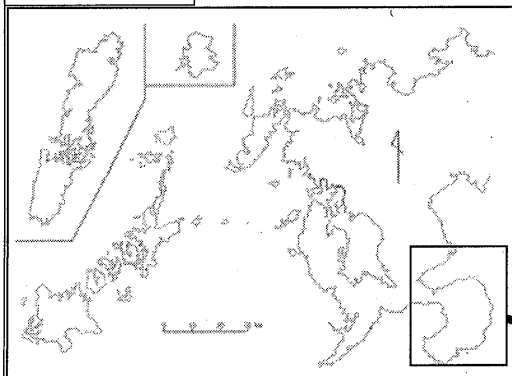
調査結果(平成22年7月5日)

(cells/ml)

調査点		観測時刻	採水層(m)	<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>
①	小長井中央港	17:05	0	503	116
②	諫早湾中央部	9:07	0	0	2
③	西郷港	10:30	0	19	24
④	多比良港	10:48	0	1,825	3,650
⑤	湯江漁港	11:00	0	1,875	7,875
⑥	島原新港	11:30	0	350	1,730
⑦	島原港(霊南)	15:59	0	750	1,800
⑧	島原港(湊新地)	15:50	0	625	650
⑨	島原外港	15:41	0	3,400	3,150
⑩	深江漁港	15:27	0	2,550	9,950
⑪	布津漁港	15:51	0	1,600	5,350
⑫	堂崎港	14:59	0	42	81
⑬	須川港	14:47	0	310	2,030
⑭	南有馬漁港	14:23	0	9	14
⑮	口之津港(湾口)	13:42	0	10	9
⑯	口之津港(大屋)	13:24	0	9	8
⑰	小浜港	15:55	0	1	0
⑱	京泊漁港	15:35	0	4	2
⑲	加津佐漁港	15:00	0	0	0
⑳	国崎漁場沖側	11:00	0	60	41
㉑		15:00	0	17	9
㉒		15:00	5	7	1
㉓	国崎漁場岸側	11:00	0	5	2
㉔		15:00	0	3	2

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 諫早市小長井町沿岸 島原半島東岸	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	沿岸域を中心に着色		
4.水色 (1~108番)	クワイアカミダ'イ(15)、 クワイキミダ'イ(24)、クワイ(33)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 1,560 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 480 cells/ml		
8.参考図	7月6日現在		



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

調査結果（平成22年7月6日）

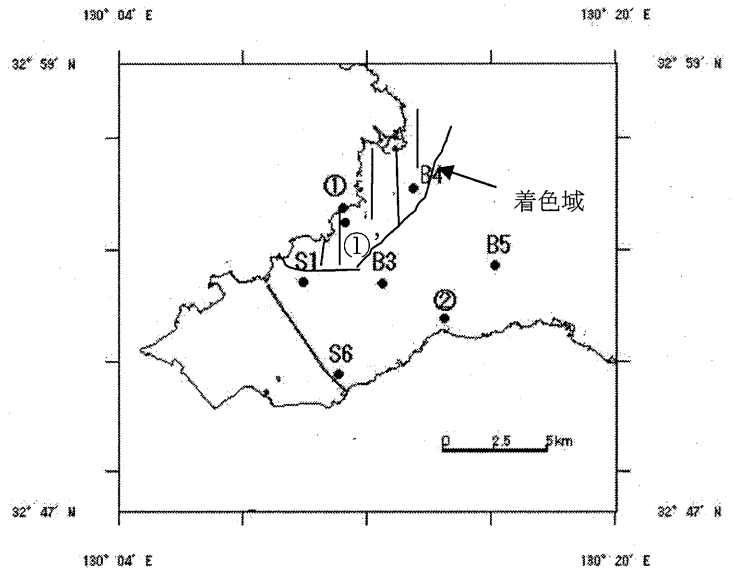
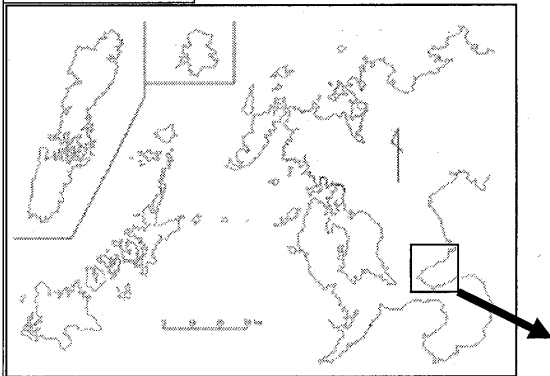
調査点	採水層 (m)	(cells/ml)		
		<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	合計
①小長井中央港	0	—	—	—
②大正港	0	2	0	2
③西郷港	0	1,060	480	1,540
④多比良港	0	580	480	1,060
⑤湯江漁港	0	1,560	200	1,760
⑥小長井沖	2.5	71	12	83
⑦諫早湾中央	2.5	129	48	177
⑧諫早湾口	2.5	383	67	450
⑨湯江沖	2.5	142	33	175
⑩三会沖	2.5	44	16	60
⑪安中沖	2.5	1,210	180	1,390
	10	720	80	800
⑫布津沖	2.5	681	103	784
	10	430	56	486
⑬有家沖	2.5	12	2	14
	10	12	2	14
⑭南有馬沖	2.5	9	2	11
	10	6	1	7
⑮口之津沖	2.5	4	2	6
	10	11	1	12
⑯口之津港	0.5	13	7	20
⑰小浜港	0	38	12	50
⑱（南串山）児島	0	51	12	63
	5	5	1	6

※ ①の小長井中央港のサンプルは塩分が7の海水を採取したため、シャットネラは確認できず。

赤 潮 発 生 状 況 速 報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 諫早湾 諫早市小長井町地先	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	沿岸域を中心に着色		
4.水色 (1~108番)	ハミノキミダ'イ(27)、ハミノキ(36) ハミノキミ'リ(45)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 642 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 247 cells/ml		

8.参考図 7月6日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県総合水産試験場

観測年月日 平成22年7月6日

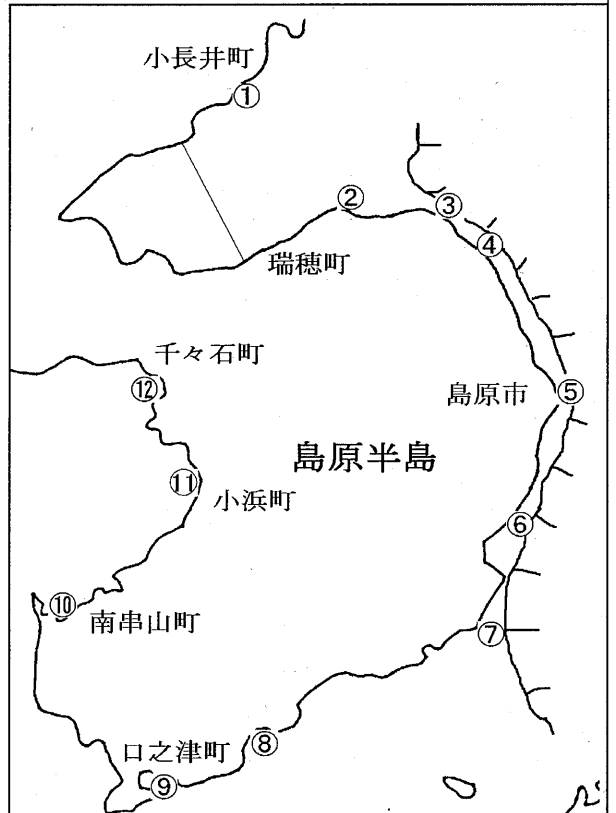
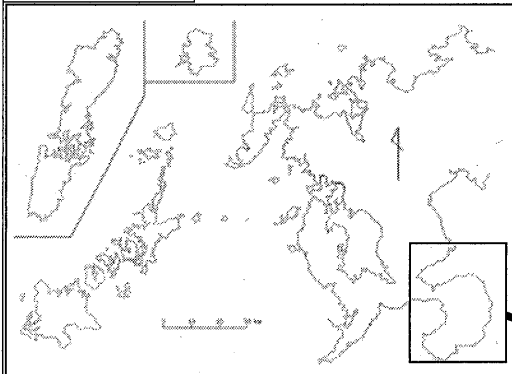
*プランクトン細胞数はcells/mL

定点	観測水深 (m)	シヤットネラ		珪藻類	水温 (°C)	塩分 (psu)	透明度 (m)	水色
		アンティーカー	マリーナ					
B3	0.5	64	32	0	24.29	27.53		51
	2	76	16	0	24.28	27.54	2.8	
	B-1(8.6)	18	22	0	22.76	29.51		
B4	0.5	170	140	0	24.32	22.70		36
	2	110	110	0	23.85	25.18	2.6	
	B-1(8.0)	16	0	0	23.17	28.07		
S1	0.5	14	6	0	24.38	28.12	1.4	45
	B-1(4.1)	4	10	0	23.58	28.69		
	0.5	1	0	0	24.20	28.42	2.5	
S6	B-1(3.6)	2	0	0	24.16	28.47		45
	0.5	237	25	0	24.34	18.92	1.5	
	B-1(4.3)	306	30	0	23.43	26.92		
①'小長井港口	0.2	642	247	15	24.79	22.57	—	27
②西郷港前	0.5	1	3	0	23.96	28.17		51
	2	1	0	0	23.89	28.40	2.6	
	B-1(4.8)	0	1	0	23.88	28.92		

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 雲仙市～南島原市沖	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	港内の一部と沖合域で着色		
4.水色 (1～108番)	クライミノダ'イ(24)、クライイ(33)、 クライミ'リ(42)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 1,023 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 147 cells/ml		

8.参考図 7月7日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

調査結果(平成22年7月7日)

(cells/ml)

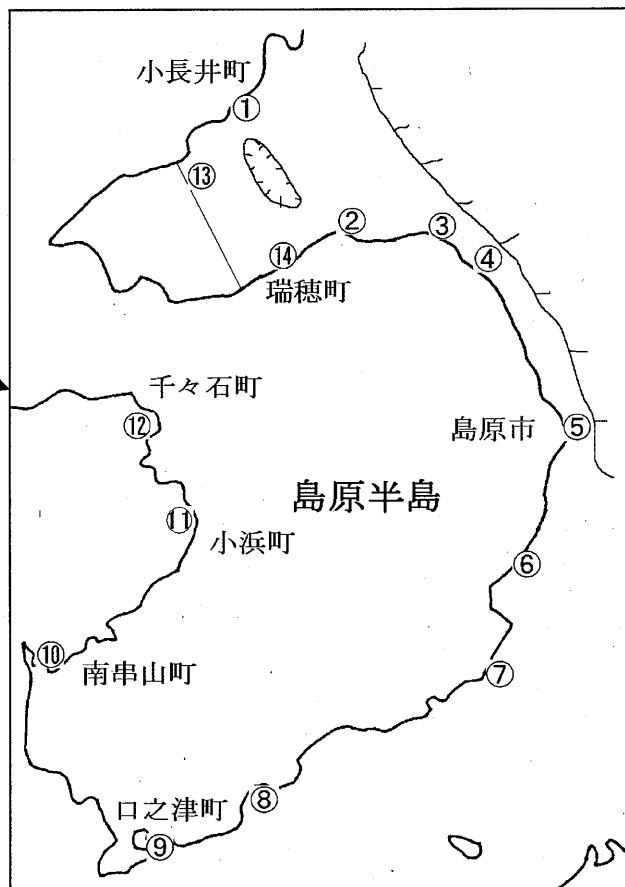
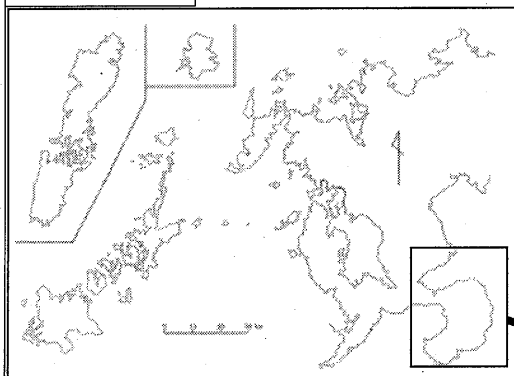
調査点	<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	シヤトネラ属 合計
①小長井中央港	167	31	198
②西郷港	71	61	132
③多比良港	800	116	916
④湯江漁港	1,023	147	1,170
⑤島原港	145	18	163
⑥深江漁港	102	83	185
⑦堂崎港	54	17	71
⑧南有馬漁港	114	11	125
⑨口之津港	24	4	28
⑩京泊漁港	4	0	4
⑪小浜港	11	0	11
⑫千々石漁港	7	0	7

※ 採水はすべて表層

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 雲仙市～南島原市沖	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	港内の一部、諫早湾内と 沖合域で着色		
4.水色 (1～108番)	クライアカ(6)、クライアカノダイダイ(15) クライキノダイダイ(24)、クワイイ(33)、 クワイキミ(42)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 2,353 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 576 cells/ml		

8.参考図 7月8日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

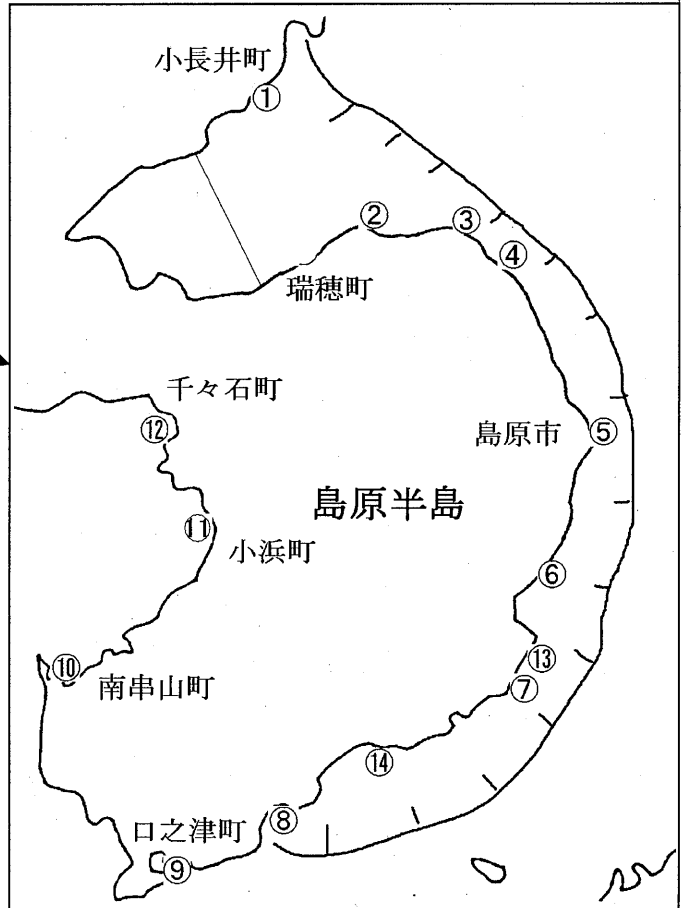
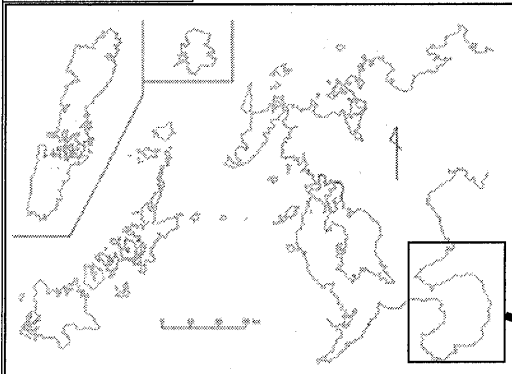
調査結果(H22.7.8)

(cells/ml)

調査点	<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	シャトネラ属 合計
①小長井中央港	417	576	993
②西郷港	1,820	280	2,100
③多比良港	680	490	1,170
④湯江漁港	1,300	570	1,870
⑤島原港	297	86	383
⑥深江漁港	2,353	320	2,673
⑦堂崎港	373	19	392
⑧南有馬漁港	145	34	179
⑨口之津港	10	1	11
⑩京泊漁港	4	0	4
⑪小浜港	2	0	2
⑫千々石漁港	2	0	2
⑬北部排水門	52	19	71
⑭大正港	116	41	157

赤 潮 発 生 状 況 速 報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	なし
2.発生海域名	九州西部 有明海 諫早市～南島原市	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	広範囲で着色		
4.水色 (1～108番)	クライアカ(6)、クライカノダ'イ(15) クライキノダ'イ(24)、クライ(33)、 クライミドリ(42)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 10,250 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 1,483 cells/ml		
8.参考図	7月9日現在		



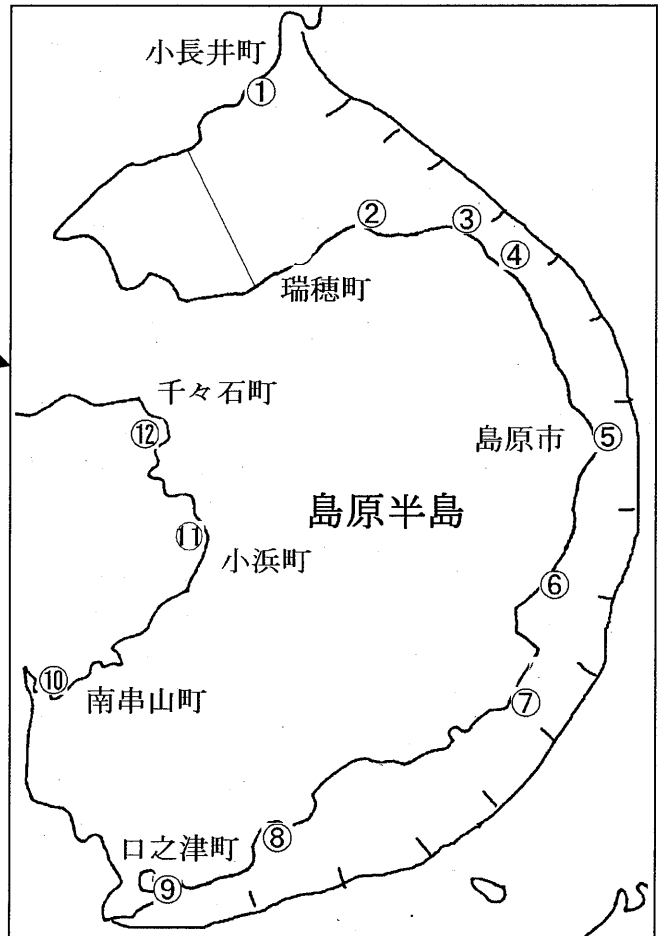
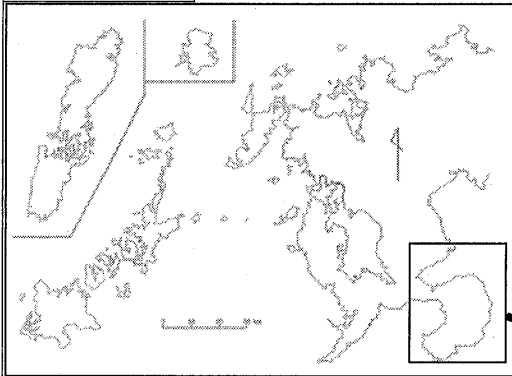
※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	
2.発生海域名	九州西部 有明海 諫早市～南島原市	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁九州漁業調整事務所 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	広範囲で着色		
4.水色 (1～108番)	クライキミノダイ(24)、クライ(33)、 ハイキミドリ(45)、ハイミドリ(54)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 7,810 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 920 cells/ml		

8.参考図 7月10日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

調査結果(H22.7.10)

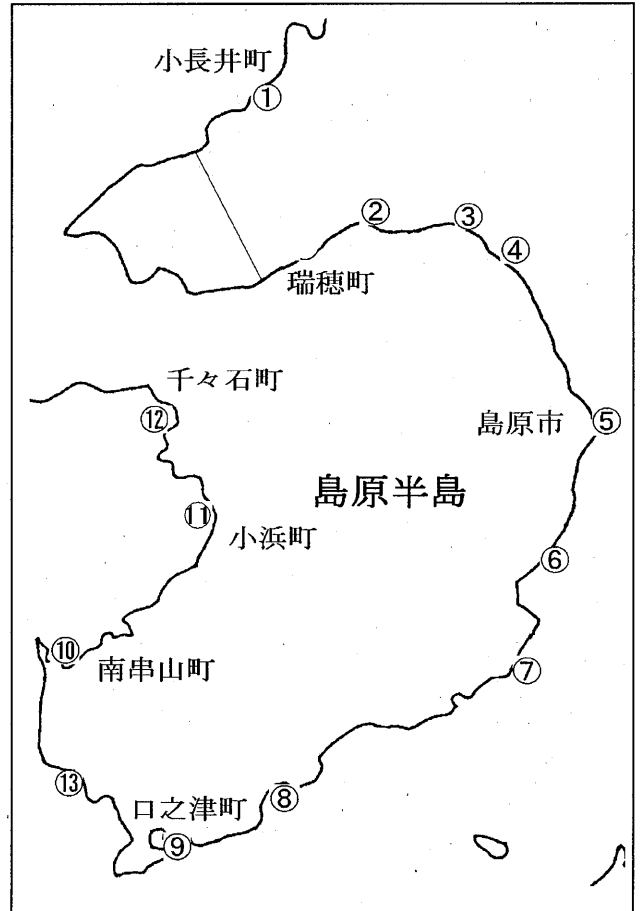
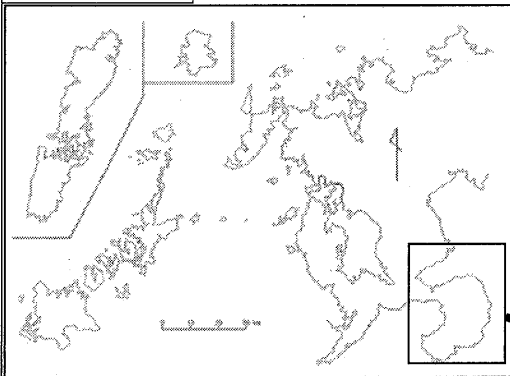
(cells/ml)

調査点	<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	シャトネラ属 合計
①小長井中央港	7,810	680	8,490
②西郷港	146	29	175
③多比良港	2,390	340	2,730
④湯江漁港	47	8	55
⑤島原港(湊新地)	263	63	326
⑥深江漁港	180	920	1,100
⑦堂崎港	1,030	38	1,068
⑧南有馬漁港	1,130	9	1,139
⑨口之津港	531	3	534
⑩京泊漁港	1	1	2
⑪小浜港	1	0	1
⑫千々石漁港	1	0	1

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	
2.発生海域名	九州西部 有明海 諫早市～南島原市	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	着色域の詳細は不明		
4.水色 (1～108番)	クライアカミノダイ(15)、 クライキミノダイ(24)、 アカルイハイキミノダイ(26)、クライキ(33)等		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 10,850 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 1,040 cells/ml		

8.参考図 7月11日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

調査結果(H22.7.11)

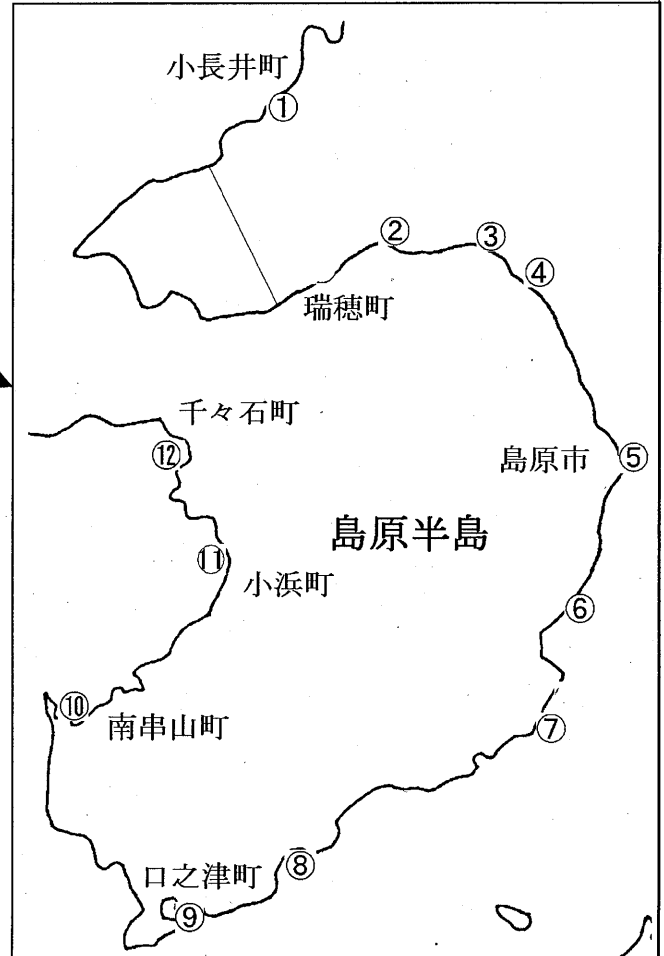
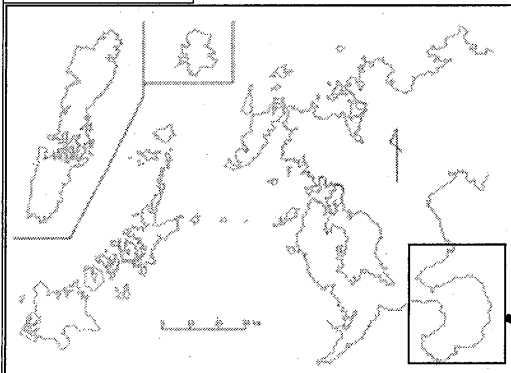
(cells/ml)

調査点	<i>C. antiqua</i>	<i>C.marina</i>	シャトネラ属 合計
①小長井中央港	663	1	664
②西郷港	0	0	0
③多比良港	687	102	789
④湯江漁港	10,850	1,033	11,883
⑤島原港(霊南)	2,180	1,040	3,220
⑥深江漁港	9,130	60	9,190
⑦堂崎港	2,706	143	2,849
⑧南有馬漁港	265	9	274
⑨口之津港	265	10	275
⑩京泊漁港	5	0	5
⑪小浜港	1	0	1
⑫千々石漁港	1	3	4
⑬加津佐漁港	17	0	17

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	7.その他
2.発生海域名	九州西部 有明海		
3.発生状況 (規模、形状等)	局所的に着色(調査点④)	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " " 有明海研究所 " " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " " 水産研究部 " " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター	
4.水色 (1~108番)	ハイノキ(36)、ニブイキトリ(43)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 2,890 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 89 cells/ml		

8.参考図 7月12日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

調査結果(H22.7.12)

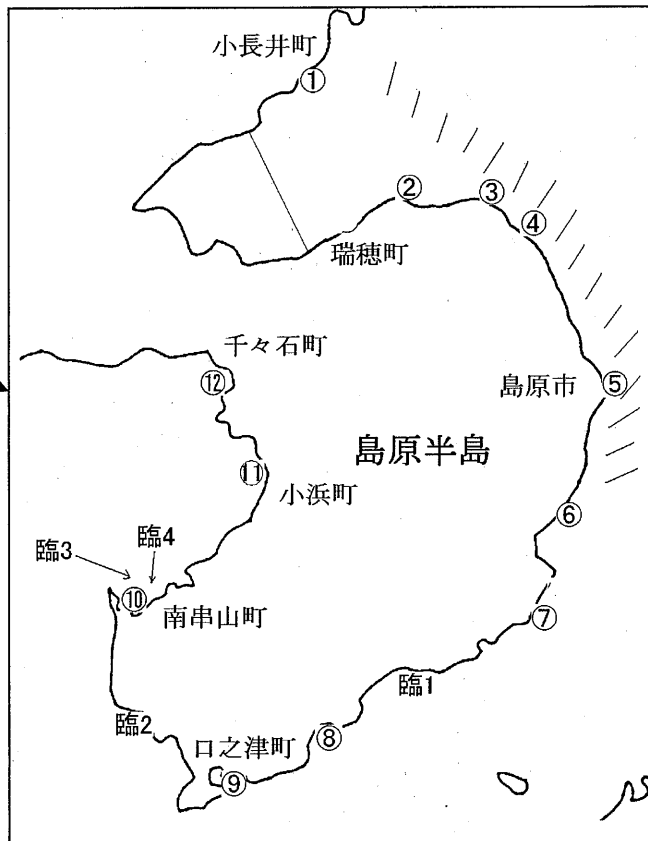
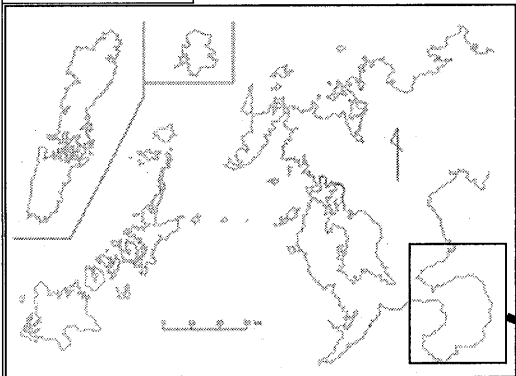
(cells/ml)

調査点	<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	シャトネラ属 合計
①小長井中央港	33	4	37
②西郷港	19	1	20
③多比良港	472	20	492
④湯江漁港	2,890	4	2,894
⑤島原港(豊南)	125	7	132
⑥深江漁港	120	89	209
⑦堂崎港	345	54	399
⑧南有馬漁港	641	10	651
⑨口之津港	74	12	86
⑩京泊漁港	108	22	130
⑪小浜港	43	5	48
⑫千々石漁港	1	0	1

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	
2.発生海域名	九州西部 有明海		
3.発生状況 (規模、形状等)	諫早湾湾口～南島原市深江町沖、 港内の一部で着色域あり	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
4.水色 (1～108番)	クライミノダイ(24)、クライ(33) クライミドリ(42)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 3,245 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 418 cells/ml		

8.参考図 7月13日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター、橘湾東部漁協南串山支所

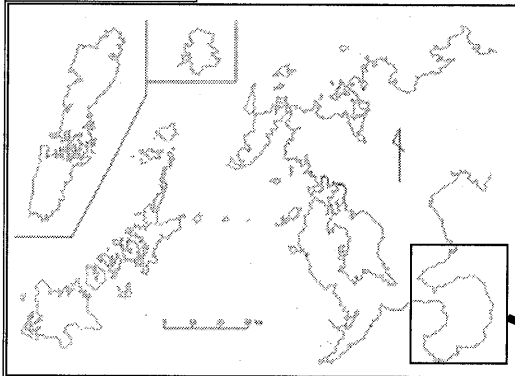
調査結果(H22.7.13)

調査点	水深(m)	(cells/ml)		合計
		<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	
①小長井中央港	0	342	48	390
②西郷港	0	108	13	121
③多比良港	0	853	72	925
④湯江漁港	0	248	31	279
⑤島原港(湊新地)	0	2,810	170	2,980
⑥深江漁港	0	3,245	418	3,663
⑦堂崎港	0	437	50	487
⑧南有馬漁港	0	89	2	91
⑨口之津港	0	294	11	305
⑩京泊漁港	0	46	5	51
⑪小浜港	0	3	0	3
⑫千々石漁港	0	6	1	7
臨1 須川港	0	423	59	482
臨2 加津佐漁港	0	7	0	7
臨3 南串山児島漁場	5	32	4	36
臨4 南串山中央漁場(10:00)	0	52	4	56
臨4 南串山中央漁場(11:30)	0	34	1	35

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	
2.発生海域名	九州西部 有明海	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
3.発生状況 (規模、形状等)	諫早湾湾口～南島原市有家町沖、 港内の一部で着色域あり		
4.水色 (1～108番)	クライミノダイ(24)、クライキ(33) クライキトリ(42)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 1,840 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 180 cells/ml		

8.参考図 7月14日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター、九州農政局

調査結果(H22.7.14)

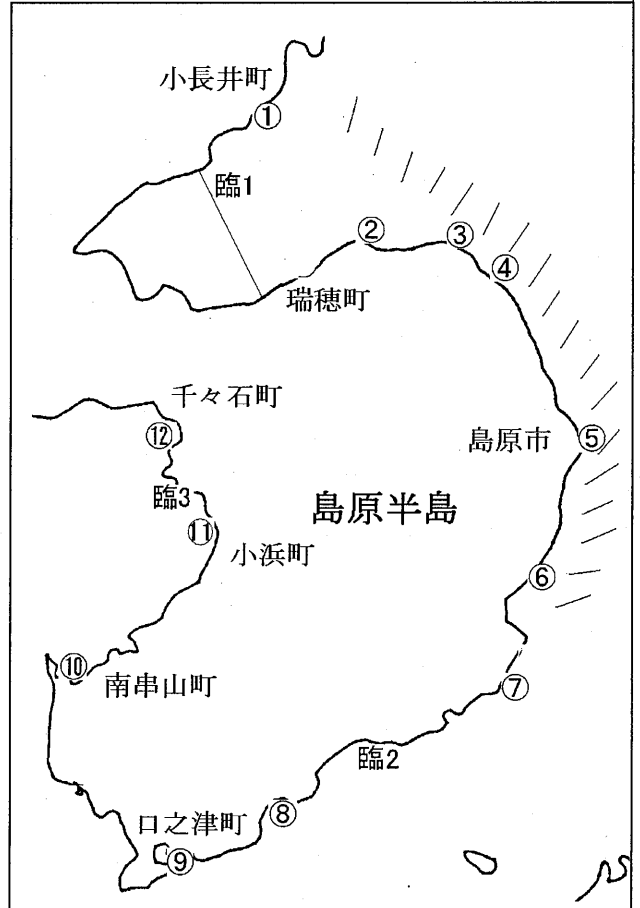
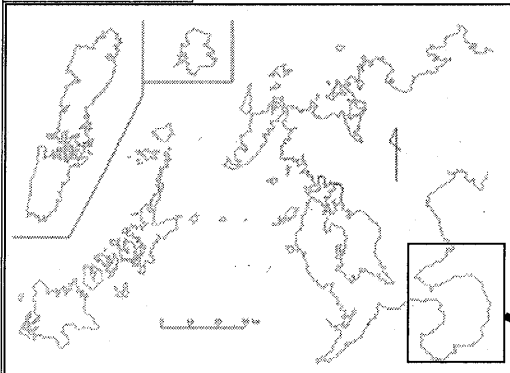
調査点	(cells/ml)		シャトネラ属 合計
	<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	
①小長井中央港	9	4	13
②西郷港	12	4	16
③多比良港	364	1	365
④湯江漁港	1,770	12	1,782
⑤島原港(湊新地)	1,096	5	1,101
⑥深江漁港	890	90	980
⑦堂崎港	1,840	180	2,020
⑧南有馬漁港	237	13	250
⑨口之津港	47	4	51
⑩京泊漁港	24	6	30
⑪小浜港	22	2	24
⑫千々石漁港	18	1	19
臨1 須川港	80	2	82
臨2 加津佐漁港	14	1	15

※ 表層を採水

赤潮発生状況速報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	
2.発生海域名	九州西部 有明海		
3.発生状況 (規模、形状等)	諫早湾湾口～南島原市深江町沖、 港内の一部で着色域あり	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " " 有明海研究所 " " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " " 水産研究部 " " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
4.水色 (1～108番)	クライアカミノダイダイ(15)、クライイ(33)、 クライキミドリ(42)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 1,140 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 190 cells/ml		

8.参考図 7月15日現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター、九州農政局

調査結果(H22.7.15)

(cells/ml)

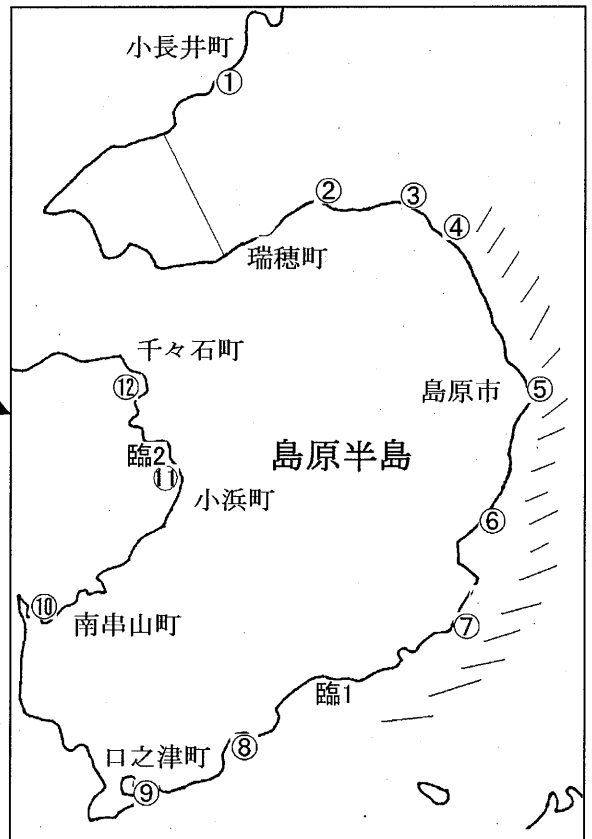
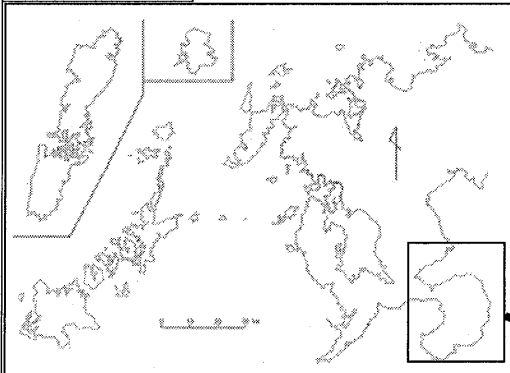
調査点	<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	シャトネラ属 合計
①小長井中央港	538	23	561
②西郷港	218	16	234
③多比良港	26	5	31
④湯江漁港	109	7	116
⑤島原港(霊南)	503	12	515
⑥深江漁港	944	68	1,012
⑦堂崎港	179	24	203
⑧南有馬漁港	11	1	12
⑨口之津港	49	2	51
⑩京泊漁港	5	100	105
⑪小浜港	1	30	31
⑫千々石漁港	58	0	58
臨1 諫早湾 S1槽	1,140	190	1,330
臨2 須川港	40	3	43
臨3 富津漁港	771	27	798

※表層を採水

赤 潮 発 生 状 況 速 報

1.発見日時	平成22年7月3日	6.漁業被害	
2.発生海域名	九州西部 有明海		
3.発生状況 (規模、形状等)	島原市有明町～南島原市西有家町沖、港内の一部で着色域あり	7.その他	発信元 長崎県総合水産試験場 通報先 長崎県水産部漁政課 長崎県水産部資源管理課 長崎県水産部水産振興課 長崎県各水産業普及指導センター 水産庁漁場資源課 水産庁九州漁業調整事務所 西海区水産研究所 瀬戸内海区水産研究所 山口県水産研究センター 内海研究部 " 外海研究部 福岡県水産海洋技術センター " 有明海研究所 " 豊前海研究所 佐賀県玄海水産振興センター 有明水産振興センター 熊本県水産研究センター 大分県農林水産研究センター " 水産研究部 " 水産研究部浅海・内水面グループ 宮崎県水産試験場 鹿児島県水産技術開発センター
4.水色 (1～108番)	クライキミノダイダイ(24)、クライキ(33)、クライキトリ(42)		
5.優占種	最高細胞数 <i>Chattonella antiqua</i> 810 cells/ml <i>Chattonella marina</i> 110 cells/ml		

8.参考図 7月16現在



※ 調査結果の詳細は別紙のとおり

備考 調査者：長崎県南水産業普及指導センター

調査結果(H22.7.16)

(cells/ml)

調査点	<i>C. antiqua</i>	<i>C. marina</i>	シャトネラ属 合計
①小長井中央港	0	0	0
②西郷港	3	1	4
③多比良港	10	2	12
④湯江漁港	454	39	493
⑤島原港(霊南)	359	48	407
⑥深江漁港	810	30	840
⑦堂崎港	740	110	850
⑧南有馬漁港	17	2	19
⑨口之津港	13	2	15
⑩京泊漁港	169	28	197
⑪小浜港	357	23	380
⑫千々石漁港	23	4	27
臨1 須川港	118	11	129
臨2 富津漁港	176	13	189

※ 表層を採水